



ほそや ま お 細谷真大選手、故郷へお帰りなさい！

【パリ2024オリンピック サッカー日本代表】細谷真大選手が市役所と母校を訪問



【市民に応援のお礼】12月19日、パリ2024オリンピックの男子サッカー競技で日本代表として活躍した細谷真大選手(牛久市出身・柏レイソル所属)が市役所を訪問しました。市長との対談では「残念な結果になってしまったけど、自分やチームに何が必要か分かった、良い経験だった」と話しました。

【母校、牛久一中訪問】同日、細谷選手は母校である牛久第一中学校を訪れ、生徒たちとの交流会が開催されました。細谷選手の母校訪問はプロ入り後初めて。交流会の冒頭では校長より卒業文集に「夢はプロサッカー選手」と書かれていたことが紹介されました。質疑応答ではサッカーに関する質問が多く、「アイコンタクトなど仲間とのコミュニケーションの大切さ」や「ライバルの存在が自分を強くする」など生徒にアドバイス。最後に細谷選手は「サッカー部にはぜひがんばってほしい、“強い、牛久一中”が見たい」と期待の言葉を送りました。



細谷選手にインタビュー！

——オリンピックお疲れさまでした！
市民からの細谷選手への応援の声は届いていましたか？

もちろん届いていました。牛久市の代表として、それに恥じないプレーを心掛けていました。今回の表敬訪問でも皆さんに盛大に歓迎してもらい、とてもうれしく思っています。

——牛久で過ごした子ども時代について教えてください

サッカー漬けの日々でしたが、友だちと近くの公園などで遊んだりもしていました。基本的には身体を動かすのが好きだった記憶があります。

——牛久に帰ってきたときはどのように過ごしていますか？また、市内でよく行くところはありますか？

祖母の家も牛久市なので、牛久に帰るとだいたい祖母の家に行ったりすることが多いです。また、去年は行けませんでした。子どものころに所属していた神谷サッカースポーツ少年団にはたびたび顔を出したりしています。

——細谷選手のようにプロを目指す子どもたちにエールをお願いします！

とにかく普段からボールを蹴って、練習することがプロサッカー選手への一番の近道だと思います。そして、サッカーを楽しんで欲しいです。

——次の舞台への具体的な目標や意気込みをお願いします

まずはレイソルでタイトルを取りたいですし、個人的な目標としては日本代表としてワールドカップで点を取ることを目指しています。

出場した試合でゴールを取れるように、日々のトレーニングから取り組んでいきたいと思っています。

オリンピックでは声援
ありがとうございました！



19
細谷 真大